

1 授業実践について

(1) 学年・単元名

第(6)学年 単元名「 生物と地球環境 」
--------------------------

(2) 単元学習計画案

学習過程	児童の学習活動	時数
ふれる	・生物と環境(水・空気・ほかの生物)との関わりについてふれ、北海道の「節婦南小島」と「汐首岬南小島」が海面に沈んだ事象から、現在の地球上で起こっている環境問題について考える。	2時間
	・それぞれの環境問題を「水」「空気」「ほかの生物」の観点で分ける。	1時間
さぐる	・「水」「空気」「ほかの生物」についての現在の問題点、行われている解決に向けての取り組みを調べる。	2時間
	・調べた結果からグループで「水」「空気」「ほかの生物」についての現状を話し合い、まとめる。	1時間
いかす	・自分たちにできる行動を考え、実践に向けて取り組む。また、その取り組みを他者(家族、学校、町など)に広げる活動を考え、実践する。	2時間

(3) 想定される展開

想定される学習活動や児童の様子	想定される指導
<p>○現在の地球環境について調べた結果と、既習事項から、「空気」「水」「ほかの生き物」を守る取り組みについて妥当な考えをつくり出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ものを燃やすと二酸化炭素が増えるので、火力発電に頼らないエネルギーへの移行が不可欠ではないか。</li> <li>・水質を改善することで、魚などの生物の環境を改善できるはずである。</li> <li>・環境破壊によって生物ピラミッドが崩れてきているので、環境の改善が必要である。</li> </ul> <p>○自身が実践できることを考え、取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鞆に「my 箸」を入れて持ち歩き、割りばしを使わないようにする。</li> <li>・車に頼らない生活を心がけ、移動時には自転車等を活用する。</li> </ul>	<p>※過去と現在の地球環境の違いから、ヒトが営んでいる今の生活様式のままでは、近未来に地球環境が破たんする現状を意識させる。</p> <p>※スウェーデンの環境活動家のグレタさんの演説の動画を観させ、実践する同世代の仲間を意識させる。</p> <p>○調べた結果を考察し、考え出した結論を実際の生活場面に活用する力を育ませる。</p>

2 全体を通しての所感

<p>「地球環境」という大きなテーマについて取り組ませる時に、児童自身とはかけ離れた別の次元の話であるという意識をもたせるのではなく、自身または自分の子ども世代のために今考えなければならないこと、一人一人が action を起こさなければ、何も起こらないという意識で取り組ませることに重点を置いて指導したい。</p>
--